

◆ 事業活動の状況（附属明細書）

I. 地域福祉活動の充実・強化

1 地域福祉活動推進事業

(1) 地域福祉活動の促進支援

第4次活動計画（平成28年～32年度）の趣旨や理念を市民や関係機関、団体と共有し協力して取り組めるよう、地区社協や連合町内会、民生委員児童委員等に対し積極的な周知、広報活動に取り組んだ。

地域福祉活動を主体的に担う地区社協活動の更なる活性化を図るため、地区社協会長会議による意見交換や小地域福祉ネットワーク活動助成において新たに選択メニューを設けるなど住民による助け合い活動の推進が促進されるよう取り組んだ。

地域の人材育成については、地域福祉活動推進員研修や地域福祉セミナーの開催など活動者のスキルアップ及び情報共有の研修等を実施した。

さらに、生活協同組合連合会コープ東北サンネット事業連合と基本協定を締結し、生活困窮者及び被災者を対象とする食料支援（フードバンク事業）を全市的に展開した。

① 第4次活動計画の推進

ア 第4次活動計画の周知（町内会、地区社協、民児協、教育機関、施設、包括、NPO・ボランティア、老人クラブ、行政等に配付。会議等で説明）

② 第3次活動計画の評価

ア 推進委員会の開催（第3次活動計画の検証と総合評価作業／1回開催）

イ 計画の認知度、福祉課題の把握等のためのアンケート調査（郵送）の実施（地区社協、民児協、NPOボランティア団体など約600団体を対象／12月に実施）

③ 地区社協の活動支援

ア 地区社協等活動助成金の交付（会費の1/2相当額／全104地区社協等に助成）

イ 地区社協会長等を対象とした会議、研修会の開催

- ・新任地区社協会長等研修会（1回）
- ・地区社協会長・地域福祉活動推進員研修会（2回）
- ・地区社協会長会議等（19回）

ウ 地域福祉活動推進員連絡会の開催

（単位：回）

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度比
開催回数	6	11	15	4

エ 地区社協が主催する研修会等への講師派遣、福祉出前講座の実施等

オ 地区社協活動の周知・共有

- ・地区社協の活動を紹介する情報紙「福祉 de まちづくり通信」の発行（年4回）
- ・地区社協活動に関する調査・研究及び情報提供事業（地区社協活動シートを作成しホームページに掲載／地区の範囲、範囲内の単位町内会・各種団体・施設、地区社協体制、小地域福祉ネットワーク活動状況 他）

カ 地区社協未設置地区への設置促進（1地区／南光台地区社協設立）

キ あんしんカードの活用促進

④ 小地域福祉ネットワーク活動の推進

- ア 小地域福祉ネットワーク活動推進事業費の助成（全 104 地区社協に助成）
- イ ボランティア活動保険への加入費助成（52 地区／1,659 名加入）
- ウ 小地域福祉ネットワーク活動研修会の開催（各区で年 1 回開催）
- エ 区地域福祉活動リーダー研修会の開催（各区で年 1 回開催）

⑤ コミュニティソーシャルワークによる個別・地域支援の推進及び C S W の育成

- ア C S W による相談・活動及び支援

・相談・活動件数

（単位：件）

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
相談・活動件数	3,703	5,231	5,203	△28

・支援の主な内容

サロン活動の立ち上げ・開催支援、小地域福祉ネットワーク活動等各種社会資源へのつなぎ、地域包括支援センターとのネットワーク会議・ケア会議の開催及び出席、住民の組織化（ボランティア団体立ち上げ）支援、見守り活動等の支援、担い手育成支援、各種助成金申請支援、情報提供 他

- イ 復興公営住宅建設地域における見守り支え合い推進事業助成金交付

（単位：件）

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
助成件数	11	15	9	△6

- ウ 復興公営住宅建設地域への支援（サロン等交流イベントの開催支援 134 回、支援団体等のコーディネート 89 回、支援者会議等の開催及び参加 94 回 他）

- エ 区内の地域諸団体との会議、懇談会の開催（5 団体地域福祉懇談会、地区社協地域福祉懇談会）

- オ 研修会等の開催（福祉委員研修会、ボランティアリーダーズカフェ 他）

- カ C S W 担当者会議の実施（情報交換、事例検討 他／5 回開催）

- キ C S W 実践者研修会の実施（C S W スキルのマネジメントについて、マルチステークホルダーと地域活動の展開について、住民活動を促進する支援のマネジメントについて／3 回開催）

⑥ 安心の福祉のまちづくり支援助成事業の実施

（単位：件）

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
助成件数	19	14	3	△11

⑦ 地域福祉活動推進のための活動拠点づくり助成事業の実施

（単位：地区）

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
助成地区数	2	3	4	1

※平成 22 年度からの設置場所（24 ヶ所）

コミュニティ・センター 8 ヶ所、連合会事務所 1 ヶ所、集会所 11 ヶ所、市営住宅 1 ヶ所、小学校 1 ヶ所、福祉施設 2 か所

⑧ 地域福祉をテーマとしたセミナー・公開講座等の開催

- ア 地域福祉セミナーの開催

開催日：11 月 4 日（金）

テーマ：地域福祉の推進は、自分たちの未来をつくる

参加者：254 名

- イ 地域福祉公開講座の開催（講演／参加者 140 名）
- ウ 復興公営住宅における支えあいを考えるシンポジウムの開催（参加 37 団体、80 名）
- ⑨ 地域福祉活動に関する広報・周知
 - ア 活動紹介等の実施（地区社協活動パネル展示／復興公営住宅支援活動パネル展示・被災者作品展の開催／社協会費加入説明会）
 - イ 社協会員と福祉活動団体との交流会の開催（泉区：1 回）
 - ウ 地区社協活動 PR ツール作成（太白区）
- ⑩ 復興支援活動
 - ア 復興公営住宅を含む地域コミュニティ構築と住民への支援
 - ウェルカムサロン等の交流イベント開催支援などを通じた住民主体の見守り・支え合い体制づくりの支援（青葉区 7 ヶ所、青葉区宮城支部 2 ヶ所、宮城野区 7 ヶ所、若林区 8 ヶ所、太白区 1 ヶ所、泉区 1 ヶ所）
 - イ 津波浸水区域における新たな支え合い活動の仕組みづくり支援／東六郷かあちゃんずサミット等住民座談会の開催（8 回）
 - ウ 復興公営住宅における支えあいを考えるシンポジウムの開催（宮城野区）（再掲）
 - エ 復興の輪ミーティングの開催（若林区：3 回）
 - オ 復興公営住宅リーダーミーティング（若林区：みやぎ連携復興センター共催 2 回）
 - カ 復興公営住宅他自治会情報交換会（若林区：1 回）
 - キ 支援者会議（泉区：10 回）
- ⑪ 生活困窮者等支援に関する取り組み
 - 生活協同組合連合会コープ東北サネット事業連合と基本協定を締結し、生活困窮者及び被災者に対する食料支援（フードバンク事業）を全市的に展開（支援実績 26 件）
- ⑫ 他団体との連携・協力
 - ア 民生委員児童委員協議会
 - 連携・協力による貸付事業利用者への支援、高齢者交流会や被災者支援交流会の共催（泉区）他
 - イ 地域包括支援センター
 - 区地域包括支援センターミーティングへの参加、地域包括支援センター主催会議・行事等（地域ケア会議、圏域会議、認知症サロン等）への参加・協力他
 - ウ 地区防災訓練への参加
- ⑬ その他の取り組み
 - <青葉区>
 - ・地域別ネットワークミーティングの開催（地域の福祉課題の共有及び対応に向けた取り組みを検討／青葉区内を 6 エリアに分割し、各エリア 1 回の計 6 回実施）
 - ・CSW と地域包括支援センター意見交換会（8 回）
 - <宮城支部>
 - ・車いすの貸出し事業（14 件）
 - ・雪かきお助け隊の活動支援（依頼登録 43 世帯、隊員登録 33 名、派遣回数 6 回）
 - <若林区>
 - ・CSW と地域包括支援センター意見交換会（4 回、参加者延べ 107 名）
 - <太白区>
 - ・地域活動推進委員会への参画（会議 5 回、研修会 1 回）

- ・地域福祉活動積立金活用事業（7 地区社協へ助成）

< 泉 区 >

- ・福祉事業振興資金助成金事業（37 団体へ助成）
- ・みやぎ生活協同組合との連携（コープフードバンクの活用 10 件）

(2) 地域支えあいセンター事業

復興公営住宅やみなし仮設住宅（借上げ民間賃貸住宅・借上げ公営住宅）に入居されている被災者の生活再建と心の復興を支援するため、生活支援相談員とCSWが連携し、行政機関や地域関係団体の協力のもと、個別訪問による相談援助や孤立感解消のための交流の場の提供、各種支援情報の提供等を行った。

本年度は、復興公営住宅と地域のコミュニティを活性化に向けて、仙台市と連携し「つなぐ・つながるプロジェクト」を立ち上げて、地域における支えあいの体制づくりの支援に努めた。

また、今後起こり得る大規模災害に際し被災者支援の現場に携わる方の参考に資するため、支えあいセンター事業の立ち上げから今日までの取り組みをまとめた記録誌「希望をつなぐ 明日へ」を発行した。

① 支えあいセンターの運営（5 区）

ア 被災世帯の生活課題や福祉ニーズに関する相談受付（電話相談含む）（単位：件）

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
相談件数	84	73	23	△50

イ みなし仮設住宅入居世帯への定期的な被災者支援情報の送付（単位：世帯／回）

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
送付対象世帯	4,523	2,333	491	△1,842
送付回数	6	5	6	1

ウ 市民センター等への情報コーナー設置による各種支援情報の提供

〔市内 53 ヶ所設置〕

② 生活支援相談員による個別訪問（対象：みなし仮設住宅）

ア 被災世帯の生活課題や福祉ニーズに関する支援情報の提供及び地域内での孤立を防ぐ定期的な安否確認（単位：世帯／件）

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
訪問対象世帯	2,730	1,701	460	△1,241
延べ訪問件数	5,118	3,175	853	△2,322

③ 生活支援相談員による定期訪問（対象：復興公営住宅）

ア 復興公営住宅入居世帯の生活課題や福祉ニーズに関する支援情報の提供及び地域内での孤立を防ぐ定期的な安否確認（単位：世帯／件）

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
訪問対象世帯	156	541	721	180
延べ訪問件数	451	1,064	1,355	291

④ 生活支援相談員による住宅再建済み世帯の定期訪問

みなし仮設住宅に入居していた本会の支援対象世帯で、みなし仮設住宅の供与期間が終了後、新たな契約により同じ住宅に継続して居住する者や市営住宅等に転居し、主に社会的に孤立するリスクが高い世帯などの訪問を平成 28 年 10 月より開始した。

〔支援対象世帯数：85 世帯（当初）、延べ訪問件数：109 件〕

⑤ 被災者の生活再建意欲向上と地域の被災者支援活動の促進

ア 交流イベント、サロン活動の開催〔支えあいセンター主催〕 (単位：回／名)

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
開催回数	306	167	73	△94
参加者数	6,146	3,144	1,396	△1,748

※被災者による運営の自主化を推進している

イ 復興公営住宅と地域のコミュニティ活性化のための「つなぐ・つながるプロジェクト」

- ・支援者団体情報交換会の開催（参加者：71 名）

テーマ：復興公営住宅のコミュニティ形成の現状と今後の支援の在り方について

- ・復興公営住宅自治会情報交換会（参加者：60 名）

テーマ：住民同士の交流を活発にするための取り組みについて

- ・「つなカタログ」の作成・配布

掲載内容：支援団体情報、地域福祉に関する助成金情報、問合せ先一覧

配布先：復興公営住宅自治会、仙台市関係課、登録支援団体

ウ 地域団体、NPO 法人等の開催する被災者支援活動の周知及び支援

エ 市外からの転居被災者支援活動への協力

オ 復興公営住宅集会室等を会場とした「みんなの作品展」の開催

⑥ その他の活動

ア 地域支えあいセンター事業の記録誌「希望をつなぐ 明日へ」の発行

- ・発行部数：2,300 冊（A4 版 213 頁、フルカラー印刷）

- ・配布先：連合町内会長、地区民生委員児童員協議会会長、地区社協会長（他）

社協関係（都道府県、政令市・中核市、宮城県内市町村（他）

行政機関、防災関連の研究機関、災害時被災者支援に関わる方（他）

イ 無料法律相談会の開催〔協力：仙台弁護士会／宮城県サポートセンター支援事務所〕

- ・開催回数：6 回（相談件数：11 件）

ウ 被災された若年層のためのパソコン講座〔協力：認定特定非営利活動法人 Switch〕

- ・開催回数：1 回（4 日間コース、受講者：5 名）

エ 各区の生活再建支援連絡会議への参画

- ・参画回数：34 回

2 ボランティア活動振興事業

(1) ボランティアの育成及び活動支援

地域福祉活動推進の重要な課題である活動の担い手不足に対応するため、一人ひとりの市民の参加を促進するボランティア育成講座等の開催や、多様な団体と連携・協働し、ボランティア活動団体の活性化・ネットワーク化等の支援を行った。

① 人材の育成・発掘

ア 夏のボランティア体験会の開催（日程：7月21日～8月24日）（単位：件／名）

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度比
受入施設数	183	175	170	△5
体験者数	426	619	713	94

イ シニアボランティア育成講座の開催【重点・新規】

- ・高砂老人福祉センター 参加申込 13名（登録者 12名）
- ・大野田老人福祉センター 参加申込 24名（登録者 24名）

※ シニアボランティア交流会を大野田老人福祉センターで開催 参加者 20名

ウ ふれあいカフェ（認知症カフェ）の開催（3回）

- ・五橋地域包括支援センター・福祉プラザ管理課共催事業

エ ボランティア育成講座等の開催（区・支部ごとに実施）

- ・青葉区「認知症サポーター養成講座～今日からあなたもサポーター～」
五橋中学校生徒・保護者（参加者 24名）
「台原地区のボランティア育成講座」
小松島小学校4学年（参加者 80名）
- ・宮城支部「傾聴ボランティア入門講座」（2回・延べ参加者 39名）
「傾聴ボランティアスキルアップ講座」（2回・延べ参加者 42名）
- ・宮城野区「はじめてのボランティア講座」（14名参加）
- ・若林区「地域のボランティア育成講座～ゲームで学ぶ防災～」
蒲町中学校1学年（170名参加）、地区社協・民児協（参加者 11名）
- ・太白区「太白地区社協ふれあいサロンスタッフ交流会」（参加者 19名）
「ふれあいいきいきサロンスタッフ講習会」（参加者 21名）
- ・泉区「地域福祉講座～広報紙が地域のコミュニケーションのきっかけを創る」
（4回・参加者 17名）

オ 学校、企業、地域のボランティア学習等への講師派遣等

カ ボランティア団体等との協働による活動の場の提供

キ 教育機関との協働等による福祉教育の推進

- ・中学生の職場体験実習受け入れ（泉区）

② ボランティアのネットワーク構築

ア ボランティア市民活動ネットワーク会議の開催

11月15日（火） 6団体参加

イ ボランティア登録団体交流会（ボランティアミーティング）の開催

- ・ボランティアグループリーダーズカフェの開催
 - せんだいボランティアミーティング（参加者 51名）
 - 泉区ボランティアリーダーズカフェ（参加者 32名）

③ ボランティア・福祉活動団体の活動状況調査の実施（個人 69人、団体 543件対象）

④ ボランティア活動者・団体の登録や機器等の貸出

ア 印刷機器、ロッカーや団体活動室等の利用登録・貸出

イ 車いす、白杖、高齢者疑似体験セット等の貸出

ウ ボランティア保険の加入受付

(単位：件/名)

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
件数 (全市)	2,480	2,246	2,342	96
人数 (全市)	86,865	98,171	98,760	589

⑤ ボランティアの広報・啓発

ア ボランティアフォーラムの開催

開催日：2月10日(金)

テーマ：「子育ては自分育て、地域育て」

～子どもは地域の宝 子どもが集い笑顔のあふれる地域にするために～

参加者：158名

イ 「社協だより せんだい」にて、区・支部ボランティアセンター情報の発信

ウ ボランティア情報誌「にこボラ」の発行 (毎月400部発行/配付先60ヶ所)

エ 福祉紙芝居の配付 (7件/59冊)

オ ボランティア活動集の発行 (宮城支部)

⑥ ボランティア活動のコーディネート

ア 登録ボランティア

(単位：名/団体)

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
個人	116	72	69	△3
団体	224 (18,377)	292 (24,072)	343 (28,274)	51 (4,202)

※ () 内は登録団体の構成人員

⑦ ボランティアセンター運営管理等

ア 仙台市ボランティア連絡協議会と連携した相談窓口の運営

(2) 災害ボランティアセンターの体制整備等

東日本大震災に伴う復興支援“EGAO (笑顔) せんだい”サポートステーションの運営や、災害時に対応する災害ボランティアセンターの運営体制の整備のための取り組みを継続した。

① 復興支援“EGAO (笑顔) せんだい”サポートステーション事業

ア 登録ボランティア

(単位：名/団体)

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
個人	3,122	3,153	3,162	9
団体	230	242	245	3

② 災害ボランティアセンター体制整備等

ア 仙台市災害ボランティアセンターの体制整備

- ・災害ボランティアセンターの体制や運営マニュアルの見直しについて検討

イ 仙台都市圏域等市町村社協災害ボランティアセンターの相互支援に関する協定の事務局運営

- ・合同研修会の開催
- ・情報伝達訓練

ウ 宮城県内社会福祉協議会における災害時相互支援協定に関する協力

③ 熊本地震による熊本市社協災害ボランティアセンターの運営支援 (職員派遣)

派遣期間：4月23日(土)～5月15日(日)

派遣職員数：10名

3 貸付事業

(1) 貸付相談の状況

相談内容に応じた各種資金の貸付申請を受付るとともに、様々な関係機関と連携を図り、給付・減免等の他制度の活用につなげ、また、生活困窮者の総合相談や就労準備支援を行っている団体と連携し生活支援困窮者自立支援制度の利用が可能となるよう相談に応じるなど、低所得世帯の自立促進に向けた支援を行った

また、平成 29 年 2 月から「仙台市ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付」を開始し、ひとり親家庭の自立の促進を図るための取り組みを始めた。

① 貸付相談 (単位：件)

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
相談件数	2,500	2,956	2,018	△938

② 生活福祉資金の貸付 (単位：件／千円)

年度 資金名	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度		前年度比	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
総合支援資金	4	1,596	1	628	1	420	0	△208
福祉資金 福祉費	12	9,674	6	5,259	5	4,321	△1	△938
福祉資金 緊急小口資金	19	1,712	12	1,120	10	937	△2	△183
教育支援資金	16	7,671	14	9,646	13	14,869	△1	5,223
不動産担保型生活資金	1	18,620	1	8,610	0	0	△1	△8,610
特例つなぎ資金	3	300	1	100	0	0	△1	△100
生活復興支援資金	1	2,400	0	0	1	90	1	90
合計	56	41,973	35	25,363	30	20,637	△5	△4,726

③ 社会福祉資金等の貸付 (単位：件／千円)

年度 資金名	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度		前年度比	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
社会福祉資金	0	0	0	0	0	0	0	0
入学準備金	0	0	0	0	0	0	0	0
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付	—	—	—	—	0	0	—	—

※なお、以下の資金・貸付は償還事務のみ

- ・母子世帯結婚資金
- ・母子福祉対策資金
- ・高額療養費貸付
- ・出産費貸付

Ⅱ. 福祉サービスの質の向上

1 高齢者福祉サービス事業所の管理運営等

(1) 老人福祉センターの管理運営

高齢者のニーズを捉えながら、介護予防や健康増進、教養の向上を目的とした各種講座や趣味の教室の開催、生活相談の実施等のほか、併設施設や市・区ボランティアセンター、地区社協等との連携・協働を通じてシニアボランティア育成講座を開催し、団塊世代のボランティアの養成を図った。

また、防災・避難訓練や福祉避難所の開設訓練を実施するなど、利用者と一緒に災害に対する備えと防災意識の醸成を図った。

(単位：日／名)

センター名	項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
大野田	開館日数	293	295	291	△4
	延べ利用者数	35,761	35,253	36,695	1,442
	1日当たりの利用者数	122.1	119.5	126.1	6.6
	趣味の教室数	13 教室	13 教室	13 教室	0
	延べ受講者数	3,336	3,559	3,738	179
台原	開館日数	293	294	291	△3
	延べ利用者数	97,836	107,769	103,392	△4,377
	1日当たりの利用者数	334.0	366.6	355.3	△11.3
	趣味の体験教室数※	20 教室	17 教室	14 教室	△3
	延べ受講者数	193	100	85	△15
高砂	開館日数	293	295	291	△4
	延べ利用者数	44,953	45,180	44,251	△929
	1日当たりの利用者数	153.4	153.2	152.1	△1.1
	趣味の教室数	6 教室	6 教室	6 教室	0
	延べ受講者数	2,860	2,869	2,675	△194
郡山	開館日数	293	294	291	△3
	延べ利用者数	31,307	29,146	28,211	△935
	1日当たりの利用者数	106.8	99.1	96.9	△2.2
	趣味の教室数	4 教室	5 教室	5 教室	0
	延べ受講者数	1,082	1,147	854 名	△293

※台原においては、平成 25 年度にセンター主催の「趣味の教室」を廃止し、愛好会の自主的な運営形態へ移行した。上記「趣味の体験教室」は、愛好会からの要望により、一般利用者に向けた会の活動紹介や入会者募集のためにセンターが愛好会と共催で開催したもの。

(2) デイサービスセンターの運営

利用者の自立支援及びご家族の介護負担軽減のため、リハビリマシンを活用した個別機能訓練やレクリエーション等を実施し、身体機能の維持及び生活意欲の向上を図った。

経営面では、営業努力による利用者数の増加やサービス提供時間の延長、職員配置の適正な見直し等により、収益改善に一定の成果を上げることができた。

(単位：名)

センター名	項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度比
台原	通所介護延べ利用者数	4,450	4,257	5,106	849
	うち個別機能訓練利用者数	2,815	2,797	3,490	693
	介護予防通所介護延べ利用者	1,559	1,649	2,158	509
	うち個別機能訓練利用者数	1,230	1,341	1,752	411
	1日の平均利用者数	19.5	19.1	23.7	4.6
高砂	通所介護延べ利用者数	4,056	3,291	3,427	136
	うち個別機能訓練利用者数	2,685	1,013	1,929	916
	介護予防通所介護延べ利用者	1,659	1,997	1,965	△32
	うち個別機能訓練利用者数	1,573	670	1,127	457
	1日の平均利用者数	18.6	17.2	17.6	0.4
郡山	通所介護延べ利用者数	4,089	3,873	4,703	830
	うち個別機能訓練利用者数	2,544	2,471	3,357	886
	介護予防通所介護延べ利用者	1,265	1,389	1,363	△26
	うち個別機能訓練利用者数	1,236	1,376	1,318	△58
	1日の平均利用者数	17.4	17.1	19.8	2.7

(3) ケアプランセンターの運営

地域の要介護者等に対し、可能な限り自立した生活ができるように支援するため、利用者本位の居宅サービス計画を作成し、各々の利用者の状態に対応したサービスを提供した。

なお、本年度は、年央での職員配置の変更(減)等により給付管理数及び介護予防支援受託件数とも減少となった。

(単位：件)

センター名	項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度比
五橋	給付管理延べ数	821	712	508	△204
	介護予防支援受託延べ数	106	66	56	△10
台原	給付管理延べ数	823	821	705	△116
	介護予防支援受託延べ数	139	184	180	△4
高砂	給付管理延べ数	1,226	1,191	950	△241
	介護予防支援受託延べ数	156	173	130	△43
郡山	給付管理延べ数	802	772	429	△343
	介護予防支援受託延べ数	58	75	45	△30

(4) 地域包括支援センターの運営

地域包括ケアシステム構築に向け、市内の全地域包括支援センター（以下この項において「センター」という。）に生活支援コーディネーターと認知症地域支援推進員の役割を担う職員が配置され、地域資源の把握や課題解決に向けた取り組みを行った。

本会の運営する4ヶ所のセンターについては、CSWをはじめ法人内の他の部署との連携を意識し社協の強みをいかした事業に取り組んだ。

① 相談件数 (単位：件)

センター名	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度比
五橋	869	974	1241	267
台原	1,429	1,122	1071	△51
高砂	766	844	757	△87
郡山	500	919	766	△153
合計	3,564	3,859	3,836	△23

② 相談内訳 (4センター合計) (単位：件)

相談内容	平成26年度		平成27年度		平成28年度		前年度比
	件数	%	件数	%	件数	%	
介護相談	1,531	24.2	965	17.5	1,016	17.4	51
施設入所	125	2.0	116	2.1	190	3.2	74
施設利用	36	0.6	44	0.8	27	0.4	△17
医療・疾病	241	3.8	179	3.3	145	2.5	△34
家族関係	104	1.6	56	1.0	70	1.2	14
経済問題	115	1.8	67	1.2	81	1.4	14
心理的問題	99	1.6	43	0.8	63	1.1	20
福祉サービス	269	4.2	439	8.0	432	7.4	△7
住宅改造	33	0.5	45	0.8	44	0.8	△1
認知症	213	3.4	227	4.1	313	5.4	86
介護保険	2,395	37.8	2,183	39.6	2,078	35.7	△105
虐待	32	0.5	20	0.4	46	0.8	26
住宅供給	12	1.0	8	0.1	4	0.1	△4
消費者被害	9	0.1	3	0.1	10	0.2	7
介護予防	174	2.7	86	1.6	93	1.6	7
成年後見制度	141	2.2	112	2.0	95	1.6	17
その他	803	12.0	913	16.6	1,118	19.2	205
合計	6,332	100.0	5,506	100.0	5,825	100.0	319

※相談内容の重複あり

③ 介護予防支援給付費請求件数 (単位：件)

センター名	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
五 橋	2,513	2,650	2,558	△92
台 原	3,664	3,885	3,967	82
高 砂	2,572	2,869	2,942	73
郡 山	2,361	2,609	2,713	104
合計	11,110	12,013	12,180	167

2 障害福祉サービス事業所の管理運営等

(1) 泉障害者福祉センターの管理運営等

管理運営事業においては、貸館や講座の開催を通じて障害者の自立支援、社会参加の促進及び障害者団体の活動支援を行った。

自立訓練（機能訓練）事業においては、個別支援計画にもとづき、身体機能の維持、向上のためのリハビリ訓練、社会参加及び就労支援のための外出訓練を実施した。

① 泉障害者福祉センター管理運営 (単位：日／件／名)

項 目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
開館日数	301	302	299	△3
貸館事業件数	444	474	502	28
延べ利用者数	3,853	3,945	4,361	416
1日当たりの利用者数	12.8	13.1	14.6	1.5

② 自立訓練（機能訓練）事業（障害福祉サービス事業） (単位：日／名)

項 目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
開館日数	251	251	251	0
延べ利用者数	1,289	1,057	813	△244
1日当たりの利用者数	5.1	4.2	3.2	△1

(2) 泉ふれあいの家の管理運営

通所する障害者に対し生活介護及び就労継続支援（非雇用型）を行った。生活介護では、利用者の個性やニーズを基に支援計画等を作成し、様々な活動や作業等を提供することで、居住する地域での自立した生活を継続するための支援に努めた。就労継続支援においては、箱折り等作業の積極的な受注及び授産品の製作を行うとともに、施設の近隣地域で開催される各種行事で施設製品を販売し、利用者の社会参加や地域住民の方の障害に対する理解を深める取り組みを行った。

泉ふれあいの家管理運営事業（生活介護・就労継続支援B型） (単位：日／名)

項 目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
開所日数	244	243	243	0
延べ利用者数	6,339	6,530	6,184	△346
通所者数	30	31	30	△1

(3) 泉ひまわりの家の管理運営

利用者一人ひとりの能力を生かし、生活習慣（食事、移動、着脱、排泄等）や障害の状況に応じたコミュニケーションスキルの向上を目指した。また、「社会体験活動」や「地域交流会」等を実施し、社会参加の促進を図った。

泉ひまわりの家管理運営事業（生活介護）

（単位：日／名）

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
開所日数	244	243	243	0
延べ利用者数	4,517	4,388	4,520	132
通所者数	21	21	22	1

(4) 障害者相談支援事業所の運営

障害者等に対し、訪問等による基本相談や支援計画の作成及び計画相談支援等に対応した。また、仙台市障害者自立支援協議会の運営に協力するとともに、区障害者自立支援協議会の運営を仙台市及び他委託相談支援事業所等と連携して取り組んだ。

① 基本相談件数

（単位：件）

事業所名	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
ふらっと青葉	7,683	4,205	3,921	△284
ふらっと泉	3,018	1,720	1,612	△108
合計	10,701	5,925	5,533	△392

② 基本相談内訳（2事業所合計）

（単位：件）

相談支援内容	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
福祉サービスの利用等	5,881	3,386	4,052	666
障害や病状の理解	56	101	107	6
健康・医療	1,287	724	346	△378
不安の解消・情緒安定	635	385	182	△203
保育・教育	28	85	34	△51
家族関係・人間関係	265	188	78	△110
家計・経済	419	401	223	△178
生活技術	805	377	202	△175
就労	223	66	156	90
社会参加・余暇活動	1,006	127	60	△67
権利擁護	5	23	56	33
その他	91	62	37	△25
合計	10,701	5,925	5,533	△392

③ 計画相談支援請求件数

(単位：件)

事業所名	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
ふらっと青葉	147	272	213	△59
ふらっと泉	278	223	204	△19
合計	425	495	417	△78

3 社会福祉事業従事者研修等の事業

(1) 社会福祉法人・施設職員研修事業

市内の社会福祉法人の役職員を対象に、人材育成やメンタルヘルス、会計事務等テーマ別に研修を実施し、福祉従事者として求められる必要な知識習得に取り組んだ。

(単位：回/名)

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
研修実施回数	8	8	8	0
延べ参加者数	376	379	471	92

(2) 地域包括支援センター職員研修事業

市内の地域包括支援センター職員等を対象として、職員の資質向上を図り、地域包括支援センターの各種事業に対する理解を深める研修会を開催し、事業の適切な遂行につなげた。

(単位：回/名)

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
研修実施回数	6	7	11	4
延べ参加者数	428	492	736	244

(3) 介護相談員派遣事業

福祉施設へ介護相談員を派遣し（毎月 1 日）、施設利用者や家族の方からの各種相談に応じ、内容を事業者へ伝え施設側の取り組み改善を促すことにより、福祉サービスの質の向上につなげた。

(単位：施設/名/件)

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
派遣施設数	70	73	70	△3
相談員数	12	12	12	0
相談件数	884	890	786	△104

4 地域福祉活動の拠点施設の運営

(1) 福祉プラザの管理運営

本年度は、指定管理者としてあらためて 5 年間の指定を受けた 2 年目であり、引き続き福祉関連団体やグループ等の活動支援のため、貸室・貸ホールを実施するとともに、利用者の利便性の向上のため新たに休憩・交流スペースを開設した。また、授産製品の合同販売会、1 階ロビーでのミニコンサートや時季の作品展示を引き続き実施するなど、市民のふれあい・交流を促進し福祉の拠点施設としての管理運営に努めた。

(単位：日／名／回／施設／件)

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比	
開館日数	344	345	344	△1	
延べ利用者数	137,750	137,903	139,969	2,066	
ふれあい広場 ミニコンサート	開催回数	12	12	13	1
	延べ来場者	539	610	693	83
福祉施設製品 販売コーナー	開催日数	226	241	225	△16
	延べ出店施設	337	364	371	7
図書コーナー	利用者数	470	556	419	△137
	貸出件数	218	170	199	29

① 本年度の新たな取り組み

- ア 認知症当事者と家族の支援のため、認知症カフェの定期的な開催
- イ 来館者へくつろぎの場を提供するため、11階に休憩・交流スペースの設置
- ウ 「夏のボランティア体験会」及び「震災と福祉活動」のパネル展の開催

(2) 社会福祉センター管理運営事業

地域福祉の充実を図ることを目的に、地域住民・団体等の福祉活動の拠点として、社会福祉団体の会議や研修など活動の場を提供するとともに、近隣施設、関係福祉団体と連携を図りながら、各種講座・行事の開催を通じて福祉ボランティアの育成及び住民の福祉意識の向上に取り組んだ。

(単位：日／名)

センター名	項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
宮城	開館日数	294	297	293	△4
	延べ利用者数	31,668	32,916	29,745	△3,171
	1日当たりの利用者数	107.7	110.8	101.5	△9.3
泉	開館日数	294	297	293	△4
	延べ利用者数	24,013	21,056	22,632	1,576
	1日当たりの利用者数	81.7	70.9	77.2	6.3

① 主な教室、講座等

- ア 宮城社会福祉センター
地域福祉講座、地域健康づくり教室、子育てサロン、地域交流会、芸能祭等
- イ 泉社会福祉センター
生き生き楽習教室、傾聴ボランティア養成講座、点字教室、手話教室、センターまつり等

5 福祉避難所の体制整備

(1) 福祉避難所の体制整備

本年度は、以下の高齢・障害施設においてそれぞれ福祉避難所開設訓練を実施し、職員の福祉避難所開設・運営についての理解を深めるとともに、日頃からの災害時への対応に対する意識付けを行った。

なお、「設置運営マニュアル（平成 22 年 3 月版）」の改定に着手し、29 年度中に策定する予定としている。

① 福祉避難所開設訓練

施設名	訓練実施日
台原老人福祉センター/台原デイサービスセンター	平成 28 年 11 月 22 日 (火)
高砂老人福祉センター/高砂デイサービスセンター	平成 29 年 2 月 24 日 (金) ※備蓄品の点検及び補充の実施
郡山老人福祉センター/郡山デイサービスセンター	平成 29 年 2 月 22 日 (水)
大野田老人福祉センター	平成 28 年 9 月 27 日 (火)
宮城社会福祉センター	平成 29 年 1 月 6 日 (金)
泉社会福祉センター/泉障害者福祉センター	平成 29 年 3 月 13 日 (月)

Ⅲ. 権利擁護活動の推進

1 判断能力が十分でない方の権利擁護の推進

(1) 日常生活自立支援事業

新規利用契約者数については、契約締結直前に利用者本人や親族の状況等により利用契約にながらなかつた件数が多かつたことから、新規契約者数は前年度実績には至らなかつた。

① 仙台市権利擁護センターの運営

ア 利用者増加とサービス提供体制の整備

・新規利用相談数 (単位：名)

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度比
認知症高齢者	166	170	122	△48
知的障害者	37	57	50	△7
精神障害者	112	110	91	△19
その他	19	40	41	1
合計	334	377	304	△73

・新規契約者数 (単位：名)

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度比
認知症高齢者	30	55	34	△21
知的障害者	21	21	11	△10
精神障害者	23	40	19	△21
その他	0	1	0	△1
合計	74	117	64	△53

・解約者数 (単位：名)

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度比
認知症高齢者	30	26	36	10
知的障害者	7	2	7	5
精神障害者	5	8	15	7
その他	3	0	0	0
合計	45	36	58	22

・利用者数 (単位：名)

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度比
認知症高齢者	111	140	139	△1
知的障害者	105	123	127	4
精神障害者	129	161	164	3
その他	1	2	2	0
合計	346	426	432	6

・専門員、登録生活支援員数

(単位：名)

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
専門員数	11	12	12	0
登録生活支援員数	23	28	32	4

イ 利用援助、金銭管理、あずかりサービスの的確な実施

- ・宮城県社協実施の運営監視合議体への事業実施報告（対象：青葉区、宮城野区、若林区及び太白区権利擁護センター）と巡視（対象：泉区権利擁護センター）
- ・各区権利擁護センターに対する実施状況調査の実施

ウ 職員の資質向上及び事故防止への取り組み

- ・専門員・生活支援員全員対象の研修会の実施（年 4 回）

エ 適正な業務運営を図るための契約締結審査会の開催（年 6 回）

(2) 成年後見制度支援事業

仙台市成年後見総合センターでは、仙台市成年後見サポート推進協議会の運営を行い、専門職・行政機関と連携しながら、制度の円滑な運用に努めた。また、市民や地域包括支援センター等の関係機関からの相談・申立支援の他、11 回目となった「成年後見セミナー」の開催などを通して普及啓発に努めた。

市民後見人については、新たに 2 名（うち 1 名は平成 27 年度に養成した第 2 期市民後見人候補者から）が受任している。

① 仙台市成年後見総合センターの運営

ア 市民や関係機関等からの相談受付、助言及び情報提供等の的確な実施

・相談件数

(単位：件)

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
認知症高齢者	184	245	228	△17
知的障害者	64	143	30	△113
精神障害者	39	47	41	△6
その他	6	23	16	△7
合計	293	458	315	△143

イ 成年後見制度利用促進と市民後見のしくみについての啓発

・成年後見制度普及・啓発のための講師派遣

(地域包括支援センター等の関係機関、行政機関、町内会、民生委員児童委員協議会、認知症高齢者・知的障害者・精神障害者の家族会等の研修会への派遣)

(単位：回)

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
派遣回数	9	11	11	0

ウ 成年後見サポート推進協議会事務局の運営（年間6回開催）

- ・市長申立事例等の検討
- ・参加団体間の情報共有及び課題検討等を行うための定例会の開催（隔月）
- ・成年後見制度の周知を図るための成年後見セミナーの開催（年1回）

開催日：平成28年11月26日（土）

内 容：第1部 話題提供「仙台市における消費者被害の状況について」

第2部 事例報告・シンポジウム「判断能力が不十分な方の消費者被害と成年後見制度」

参加者：139名（事前申込者147名）

② 市民後見人養成・支援事業の実施

ア 市民後見人受任状況

（単位：件）

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度比
受任調整件数	11 (3)	13 (2)	15 (2)	2

※平成23年度からの延べ件数（ ）内は当該年度の新規受任件数

イ 市民後見人候補者の選考のための受任調整委員会の開催

（単位：回）

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度比
開催回数	3	1	2	1

ウ 市民後見人への助言等の活動支援

（単位：件）

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度比
支援件数	68	42	51	9

エ 市民後見人に係る後見監督業務の適正な実施

（単位：件）

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度比
監督件数	23	29	32	3

オ 市民後見人養成支援事業

- ・継続研修の開催：平成28年4月～平成29年1月（6日間開催）
- ・市民後見人候補者名簿登録者：27名

IV. 経営基盤の強化

1 組織機能の強化

(1) 法人の運営の強化

社会福祉法の改正に伴い、厚生労働省及び全国社会福祉協議会のモデル定款等を参考に、定款の改正を行うとともに関連する諸規定の改正を行った。

また、理事会及び評議員会の運営では、上半期終了を受けて中間的に事業・会計報告を行うとともに、次年度の事業に関して理事との意見交換を行った。

① 理事会、評議員会の開催

【理事会】

開催日	概要
第1回 平成28年 4月1日(金)	【議案】 ・会長及び副会長の選任
第2回 5月30日(月)	【報告事項】 ・平成28年度資金収支補正予算(第一次)の専決処分について 【議案】 第1号議案 平成27年度事業報告について 第2号議案 平成27年度決算について 第3号議案 次期指定管理者への応募対応について 第4号議案 社会福祉施設長の任免について
第3回 11月30日(水)	【報告事項】 ・補正予算にかかる専決処分について ・次期指定管理の申請について ・平成28年度上半期事業及び会計報告(概要)について 【議案】 第1号議案 平成28年度資金収支補正予算(第三次)について 第2号議案 定款の変更について 第3号議案 評議員選任規程の制定について 第4号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任並びに同委員会運営規則の制定について
第4回 平成29年 1月27日(金)	【報告事項】 ・規程改正にかかる専決処分について 【議案】 第1号議案 評議員候補者の推薦について 第2号議案 評議員選任・解任委員会の招集について 【意見交換】 平成29年度事業計画の策定に向けて(素案)
第5回 3月24日(金)	【報告事項】 ・評議員の選任について ・監事の退任及び選任について 【議案】 第1号議案 理事・監事選任規程の制定について

	<p>第 2 号議案 事務局組織等に関する規程の一部改正について</p> <p>第 3 号議案 事務分掌規程の一部改正について</p> <p>第 4 号議案 事務決裁規程の一部改正について</p> <p>第 5 号議案 定款施行細則の一部改正について</p> <p>第 6 号議案 会員及び会費に関する規程の一部改正について</p> <p>第 7 号議案 委員会規程の一部改正について</p> <p>第 8 号議案 経理規程の一部改正について</p> <p>第 9 号議案 事務局職員の給与等に関する規則の一部改正について</p> <p>第 10 号議案 平成 28 年度資金収支補正予算（第四次）について</p> <p>第 11 号議案 平成 29 年度事業計画について</p> <p>第 12 号議案 平成 29 年度資金収支予算について</p> <p>第 13 号議案 社会福祉施設長の任免について</p>
--	--

【評議員会】

開催日	概 要
<p>第 1 回</p> <p>平成28年</p> <p>5月30日（月）</p>	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度資金収支補正予算（第一次）の専決処分について <p>【議案】</p> <p>第 1 号議案 平成 27 年度事業報告について</p> <p>第 2 号議案 平成 27 年度決算について</p> <p>第 3 号議案 次期指定管理者への応募対応について</p> <p>第 4 号議案 理事の選任について</p>
<p>第 2 回</p> <p>11 月 30 日（水）</p>	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補正予算にかかる専決処分について ・次期指定管理の申請について ・平成28年度上半期事業及び会計報告（概要）について <p>【議案】</p> <p>第 1 号議案 平成 28 年度資金収支補正予算（第三次）について</p> <p>第 2 号議案 定款の変更について</p> <p>第 3 号議案 評議員選任規程の制定について</p> <p>第 4 号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任並びに同委員会運営規則の制定について</p>
<p>第 3 回</p> <p>平成 29 年</p> <p>3 月 24 日（金）</p>	<p>【議案】</p> <p>第 1 号議案 理事・監事選任規程の制定について</p> <p>第 2 号議案 事務局組織等に関する規程の一部改正について</p> <p>第 3 号議案 事務分掌規程の一部改正について</p> <p>第 4 号議案 事務決裁規程の一部改正について</p> <p>第 5 号議案 定款施行細則の一部改正について</p> <p>第 6 号議案 会員及び会費に関する規程の一部改正について</p> <p>第 7 号議案 委員会規程の一部改正について</p> <p>第 8 号議案 経理規程の一部改正について</p> <p>第 9 号議案 事務局職員の給与等に関する規則の一部改正について</p> <p>第 10 号議案 平成 28 年度資金収支補正予算（第四次）について</p> <p>第 11 号議案 平成 29 年度事業計画について</p> <p>第 12 号議案 平成 29 年度資金収支予算について</p> <p>第 13 号議案 監事の選任について</p>

② 監事会の開催

開催日	概要
第1回 平成28年 5月17日(火)	【議題】 ・平成27年度事業報告について ・平成27年度決算について

③ 会長・副会長会議の開催 (3回)

④ 区・支部社会福祉協議会の開催 (各区・支部で2~3回)

⑤ 本会事業の方向性に向けた若手職員によるプロジェクト (全12回)

⑥ 地域における公益的な取組に関するセミナーの開催

開催日 平成29年2月6日(月)

内容 第1部 講演「社会福祉法人の地域公益活動と地域福祉の推進」

第2部 グループ討議

参加者 30法人、59名

(2) 職員の資質向上の促進

職制や職務に応じた対象者に対して内部研修を実施するとともに、各種資格の取得促進や全社協、県社協及び市主催の研修等への参加、及び社協職員として求められるコミュニティソーシャルワークの基本的な技術や知識の習得の重要性に鑑み、昨年度に引き続き、「コミュニティソーシャルワーカー基礎研修」を実施し、職員の資質向上に取り組んだ。

① 内部研修会の開催

実施月日	内容
平成28年 4月4日(月)	新規採用職員研修 出席25名
4月6日(水)	新規採用職員研修 出席15名
7月28日(木)	初任層正職員研修 出席11名
12月14日(水)	パワーハラスメント防止研修 出席20名
平成29年 1月26日(木)	ハラスメント防止研修 出席18名 (講師：公益財団法人21世紀職業財団)
2月9日(木)	メンタルヘルス研修 出席16名 (講師：一般社団法人日本産業カウンセラー協会)
2月21日(火)	コミュニティソーシャルワーカー基礎研修 出席18名

② 福祉職資格等の取得支援

(単位：名)

資格	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度比
介護支援専門員	2	2	0	△2
主任介護支援専門員	-	-	1	1
社会福祉士	1	1	0	△1
精神保健福祉士	0	0	0	0
サービス管理責任者	4	2	6	4
衛生管理者	11	0	2	2

③ 外部研修への参加

ア 全社協主催

開催日	研修名
平成 28 年 6 月 3 日 (金) ~ 5 日 (日)	社会福祉法人経営者研修「人事管理コース」 参加 1 名
6 月 9 日 (木) ~ 10 日 (金)	社会福祉協議会活動全国会議 参加 4 名
7 月 13 日 (水) ~ 14 日 (木)	都道府県・指定都市社協「常務理事・事務局長セミナー」 参加 1 名
9 月 5 日 (月) ~ 6 日 (火)	社会福祉法人広報強化セミナー 参加 1 名
9 月 7 日 (水) ~ 8 日 (木)	地域生活支援ワーカー (地域福祉コーディネーター) リー ダー研修会 参加 2 名
9 月 28 日 (水) ~ 29 日 (木)	大都市の福祉問題への取組を考える社協セミナー 参加 3 名
11 月 16 日 (水) ~ 17 日 (木)	福祉ビジョン 21 世紀セミナー 参加 1 名
平成 29 年 1 月 16 日 (月) ~ 18 日 (水)	都道府県・指定都市社協 中堅職員研修 参加 2 名
2 月 1 日 (水)	全国地域包括・在宅介護支援センター研修会 参加 1 名
2 月 9 日 (木) ~ 10 日 (金)	平成 28 年度ファミリーソーシャルワーク研修会 参加 2 名
2 月 13 日 (月)	権利擁護・虐待防止セミナー 参加 1 名
2 月 21 日 (火)	平成 28 年度第 2 回社協活動全国会議 参加 3 名
2 月 22 日 (水)	住民主体の地域包括ケア推進セミナー 参加 3 名
3 月 7 日 (火)	多機関の協働による包括的相談支援体制 全国推進セミナ ー 参加 3 名

イ 県社協主催

開催日	研修名
平成 28 年 5 月 26 日 (木)	係長研修 参加 1 名
6 月 7 日 (火)	福祉QC活動研修 参加 2 名
7 月 1 日 (金)	中堅・監督職員研修 参加 1 名
7 月 28 日 (木)	福祉職員ステップアップ研修 参加 1 名
10 月 27 日 (木)	新任職員研修Ⅲ 参加 4 名
11 月 1 日 (火)	職場のリーダーシップ研修 参加 1 名
11 月 6 日 (日)	保健担当職員研修 参加 2 名
11 月 10 日 (木)	課長職員研修 参加 1 名
12 月 15 日 (木)	アンガーマネジメント研修 参加 2 名
平成 29 年 1 月 25 日 (水)	タイムマネジメント講座 参加 1 名
2 月 7 日 (火)	広報のための研修会 参加 4 名
2 月 20 日 (月) ~ 21 日 (火)	宮城県コミュニティソーシャルワーク実践研修会 参加 2 名

ウ 市職員研修所主催

開催月	研修名
平成 28 年 6 月、11 月	3 年目職員研修／採用 3 年目職員 参加 3 名
平成 28 年 7 月	5 年目職員研修／採用 5 年目職員 参加 3 名
平成 28 年 11 月、 平成 29 年 1 月	係長研修第Ⅱ部／新任ポスト係長 参加 3 名
平成 28 年 5 月、8 月、11 月	課長研修第Ⅰ部／新任課長職 参加 1 名
平成 28 年 6 月	事務系実務基礎講座（予算・決算、契約事務、個人情報保護、文書事務、会計事務） 参加 6 名
平成 28 年 10 月 21 日（金）	信頼される市民対応術基本研修 参加 1 名

エ その他の外部研修（一部）

開催日	研修名
平成 28 年 4 月～ 平成 29 年 3 月	C S W スキルアッププログラム／東北学院大学主催 参加 7 名
平成 28 年 7 月～12 月	女性と防災まちづくり「決める・動く 2016」／(公財)せんだい男女共同参画財団主催 参加 1 名
平成 28 年 10 月 8 日（土）～9 日（日）	生活支援コーディネーター指導者養成にかかる中央研修 ／厚生労働省主催 参加 1 名

オ 区・支部事務所長会議の開催（年 12 回）

カ 安全衛生委員会の開催（年 8 回）

キ 第 3 次一般事業主行動計画の実施

(3) 福祉関係団体等の支援

次の福祉関係団体等の事務局運営を担い、事業の推進に取り組んだ。

- ① 仙台市民生委員児童委員協議会
- ② 仙台市共同募金委員会
- ③ 日本赤十字社宮城県支部仙台市地区本部
- ④ 仙台市ほほえみの会
- ⑤ 仙台市遺族会
- ⑥ 仙台市地域包括支援センター連絡協議会
- ⑦ 仙台市老人福祉施設協議会
- ⑧ 東北ブロック老人福祉施設協議会

(4) 苦情解決事業

日頃から、各施設等において利用者からの意見、苦情等について適切に対応するとともに、苦情解決第三者委員 7 名による相談窓口を開設し、利用者の声を反映したサービス向上に努めた。

① 苦情受付状況

(単位：件)

苦情内容	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
職員の対応に関する事	1	2	3	1
施設の利用に関する事	1	0	2	2

② 相談窓口開設状況

開催日	施設名
平成 28 年 6 月 29 日 (水)	高砂老人福祉センター (デイサービスセンター、地域包括支援センター、ケアプランセンター)
7 月 1 日 (金)	大野田老人福祉センター
7 月 7 日 (木)	泉社会福祉センター、泉障害者福祉センター、泉ふれあいの家、泉ひまわりの家
8 月 24 日 (水)	宮城社会福祉センター
8 月 25 日 (木)	台原老人福祉センター (デイサービスセンター、地域包括支援センター、ケアプランセンター)
9 月 14 日 (水)	郡山老人福祉センター (デイサービスセンター、地域包括支援センター、ケアプランセンター)
平成 29 年 2 月 8 日 (水)	高砂老人福祉センター (デイサービスセンター、地域包括支援センター、ケアプランセンター)
2 月 15 日 (水)	大野田老人福祉センター
2 月 15 日 (水)	台原老人福祉センター (デイサービスセンター、地域包括支援センター、ケアプランセンター)
2 月 15 日 (水)	泉社会福祉センター、泉障害者福祉センター、泉ふれあいの家、泉ひまわりの家
2 月 21 日 (火)	宮城社会福祉センター

(5) 広報活動の強化

これまで各区・支部事務所がそれぞれ発行してきた広報紙を統合し、新たに「社協だより せんだい」として年 2 回発行した。より一層幅広い市民に向けて、分かりやすく、親しみやすいものとして情報を発信した。ホームページについても、随時更新を行い、会費や寄附の協力依頼等、様々な活動に関する情報発信を行った。

① ホームページによる情報発信

ア アクセス数 139,705 件／年 (前年比 3,257 件増)

② 第 51 回仙台市社会福祉大会の開催

8 月 30 日 (火) に、開催を予定していた「第 51 回仙台市社会福祉大会」は、台風 10 号の影響を考慮し中止とした。

受賞者の賞状及び記念品等については、推薦団体または受賞者個人に郵送した。

ア 仙台市長感謝状贈呈者 / 85 名、1 団体

イ 仙台市社会福祉協議会長表彰状及び感謝状贈呈者 / 187 名、37 団体

ウ 仙台市共同募金委員長感謝状贈呈者 / 57 名

エ 仙台市障害者福祉協会会長表彰状及び感謝状贈呈者 / 6 名

オ 仙台市手をつなぐ育成会理事長表彰状及び感謝状贈呈者 / 10 名、1 団体

③ 広報紙の発行

広報紙名	発行月日	発行部数
社協だより せんだい	平成 28 年 7 月 1 日 (創刊号) 【主な掲載内容】 ・平成 28 年度重点事業概要 ・第 4 次地域福祉活動計画概要 ・地区社協の活動状況 ・ボランティア活動の状況 など	青葉区版 76,850 部 宮城支部版 24,250 部 宮城野区版 75,050 部 若林区版 57,050 部 太白区版 61,050 部 泉区版 83,550 部 計 377,800 部
	平成 29 年 1 月 1 日 (第 2 号) 【主な掲載内容】 ・小地域ネットワーク活動事業の紹介 ・復興公営住宅建設地域での支えあい活動の紹介 ・会費、寄附金のお知らせ など	青葉区版 76,850 部 宮城支部版 24,250 部 宮城野区版 76,500 部 若林区版 57,050 部 太白区版 61,050 部 泉区版 83,550 部 計 379,250 部
太白区社協だより	平成 28 年 4 月 1 日 (第 53 号)	61,000 部
グリーンウェブ	平成 28 年 10 月 1 日 (第 54 号)	61,000 部

2 財務基盤の強化

(1) 経営基盤の強化

地区社協や町内会等の協力のもと会員募集の呼びかけを行った。また新たな取り組みとして、経済団体を通じて社協活動の PR を行うなど企業等の加入促進を図り 50 社余の新規法人会員を得たが、会費全体としては前年度並みの実績となった。

通所介護は、年央からサービス提供時間を延長するなど増収策を講じ、職員配置の見直しや事務経費削減等に取り組んだ結果、当初計画を上回る収益改善の実績をあげることができた。

① 財源確保策の取り組み

ア 社協会員の募集

(単位：会員／千円)

項目	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度		前年度比	
	会員数	金額	会員数	金額	会員数	金額	会員数	金額
特別賛助 会員及び 普通会員	258,274	83,319	261,371	83,824	259,237	83,447	△2,134	△377
法人会員	275	3,050	297	3,190	298	3,370	1	180
合計	258,549	86,369	261,668	87,014	259,535	86,817	△2,133	△197

イ 寄附金等の受入れ

(単位：件／千円)

項 目	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度		前年度比	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
寄附金等	112	17,112	105	15,785 (内訳) 寄附金収入 12,955 固定資産受 贈額 2,830	98	15,307 (内訳) 寄附金収入 13,183 固定資産受 贈額 2,124	△7	△478 (内訳) 寄附金収入 228 固定資産受 贈額 △706

② 介護保険事業の収益改善の取り組み

ア 居宅介護支援事業所のケアマネジャーとの信頼関係の再構築

- ・新規事業所を含めたケアマネジャーへの営業強化・施設見学会の開催、困難ケースの積極的受入れ等

イ 一般市民への広報の強化

- ・ホームページの内容更新、近隣団体へのセンターだより配付等を通じた広報等

ウ 併設施設の連携・協力の推進

- ・併設施設による通所介護事業戦略会議の開催（台原、高砂、郡山にて各 5 回）

③ 各種事業運営積立事業

ア 地域支え合い基金

イ ボランティア基金

ウ 介護保険事業運営積立金 等

(2) 収益事業

自主財源確保のため自動販売機を設置し、その収益を社会福祉事業に充当した。

- ・12 台（シェルコム仙台 3 台、仙台スタジアム 6 台、老人福祉センター 3 台）